

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施策	①平和学習の推進及び次世代への継承
			施策の小項目名	○平和学習の充実
主な取組	平和講話の実施		対応する成果指標	平和祈念資料館による平和講話等の実施学校数
施策の方向	・沖縄戦の実相と教訓を正しく次世代に伝えていくため、沖縄戦の調査研究を進めるとともに、子どもたちの学びの機会としての平和学習の充実に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県平和祈念資料館による平和講話の実施	県関係団体	沖縄県平和祈念資料館による平和講話の実施		
		県内学校向け平和講話利用案内説明会の回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課 【 098-866-2500 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 平和祈念資料館展示活動事業				予算事業名 平和祈念資料館展示活動事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	
県単等	委託	26,819	32,995	県単等	委託	27,843
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄戦の実相を正しく次世代へ伝えるため、県内の小中高特別支援学校へ平和講話を109回、学校向け平和講話利用案内説明会を1回実施した。				県内学校向け平和講話の実施と、県内学校向け平和講話等利用案内説明会（1回）を実施する。		

活動指標名	県内学校向け平和講話利用案内説明会の回数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	1回	1回	1回	100.0%	順調	県内小中高特別支援学校向けの平和講話の実施と、平和講話等利用案内説明会を実施。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内学校向け平和講話等利用説明会の実施は、毎年4月初旬に行うことで、本資料館の利用方法などを知る機会としている。また、どのように平和学習を実施すればよいか学校現場の教師が相談できる場としても評価されている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・資料貸出等による平和教育のサポートを通して修学旅行等の誘致を行い、県内学校に平和講話や遠隔地への出前講座等を実施し、当館の積極的な活用を働きかける。	・本資料館を積極的に活用してもら一つとして、県内学校向け平和講話等利用案内説明会を設けている。その中で、平和講話を活用する各学校団体への呼びかけを行うとともに、効果的な平和学習への対応ができるよう、県内学校等に対し平和学習に関する助言や平和講話に関する調整等を積極的に行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	平和教育のさらなる充実を図るため、児童の発達段階に合わせた講話内容について検討する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	講話の依頼を受けた調整の際に、既に学習した予備知識の程度や、希望する講話の内容などを聞き取り、より効果的な学習となるよう、画一的な内容とならないよう臨機応変に対応する必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	各学校団体において、平和学習に対する取り組みに差があるため、各現場に見合った丁寧なサポートを行う必要がある。	② 連携の強化・改善	取り組み事例を紹介するなどして、各学校で、継続して取り組める平和学習のあり方の検討をする必要がある。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施策	①平和学習の推進及び次世代への継承
			施策の小項目名	○次世代へ語り継ぐ担い手の育成・確保
主な取組	次世代へ語り継ぐ担い手養成講座		対応する成果指標	平和祈念資料館による平和講話等の実施学校数
施策の方向	・平和講話、平和に関するワークショップ等を活用し、県内教育機関をはじめ県外からの修学旅行生や外国人への情報発信に取り組むとともに、戦争体験者等から思いを継承し、沖縄戦の記憶や記録を学び次世代へ語り継ぐ担い手の育成・確保を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
次世代に語り継ぐ担い手の育成	県関係団体	次世代に語り継ぐ担い手の育成		
		次世代に語り継ぐ担い手養成講座受講者数		
		講座内容等の検討	講座内容等の検討	30人
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課	【 098-866-2500 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)						
(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>県内の語り部の活動状況や課題等を踏まえ、養成講座の実施に向けた検討を行った。併せて八重山分館の現状、課題等把握のためヒアリングを実施した。</p>				<p>県内で活動する複数の平和ガイド団体への詳細なヒアリングを行い、講座の内容や、その効果が後年においても持続可能になるような仕組みを検討する。</p>		
活動指標名	次世代に語り継ぐ担い手養成講座 受講者数	R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)		
	—	—	講座内容等の検討	講座内容等の検討	100.0%	順調
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果						
<p>関連団体のヒアリングを行うことで、養成講座の仕組み、内容を組み立てる上での課題、注意点など大きな気づきを得られた。それを踏まえ、講座内容や期間、回数のほか、離島（八重山）を含めた開催手法（リモート）などの工夫について検討を行った。</p>						
(2) これまでの改善案の反映状況						
令和4年度の取組改善案				反映状況		
<p>・次世代に語り継ぐ担い手養成講座の実施に向けた、ヒアリングの実施。資料館友の会を含め、八重山分館（マラリヤ遺族会、分科会長、運営協議会長、分館職員）へのヒアリングが中心。</p>				<p>・八重山分館（圏域）の現状と課題を把握するため、マラリヤ遺族会なども含めたヒアリングを実施した。八重山地域においては、継承するにも、友の会などの組織の立ち上げが出来ておらず、養成講座を通して、語り継ぎ手を育成する必要があると考えている。</p>		

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	R6年度に「次世代へ語り継ぐ担い手養成講座」開催に向けて関連団体の活動状況や課題、ニーズ等を把握している状況である。	③ 他地域等事例を参考とした改善	今後語り部の減少が進む中で、各団体のヒアリングを踏まえ、有効な担い手講座の実施・計画を進める。その際、県外の事例なども参考にできるものを検討する(広島や長崎の事例)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施策	①平和学習の推進及び次世代への継承
			施策の小項目名	○慰霊碑(塔)の適正な管理等
主な取組	慰霊碑(塔)の適正な管理		対応する成果指標	平和祈念資料館による平和講話等の実施学校数
施策の方向	・県内に多く設置されている慰霊碑や慰霊塔の一部においては、関係者の高齢化等に伴い十分に管理されていない状況等にあることから、管理実態の調査結果等を踏まえつつ、国や市町村、関係団体と連携を図りながら管理や支援のあり方を個々に検討し、課題解決に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
戦友や遺族等が深い思いを込めて建立した慰霊塔(碑)の中には、関係者の高齢化等に伴い、十分に管理がなされていない課題が顕在化していることから、慰霊塔(碑)の建立状況を把握し、今後の管理方法等について検討を行う。	県,市町村等,関係団体	関係機関と連携した個々の慰霊碑(塔)の管理や支援のあり方の検討と課題解決への取組		
		関係機関との意見交換回数(累計)		
		2回	1回(3回)	1回(4回)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部保護・援護課 【 098-866-2428 】	関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/hogoengo/ireitou.htm">https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/hogoengo/ireitou.htm</a>	

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	慰霊等事業費（管理困難慰霊塔（碑）市町村等意見交換）			予算事業名	慰霊等事業費（管理困難慰霊塔（碑）市町村等意見交換）		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
県単等	直接実施			主な財源	実施方法	当初予算額	
				県単等	直接実施	117	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
令和2年度の管理困難慰霊塔調査結果に基づき、管理者不明及び管理困難な慰霊塔（碑）が所在する2自治体と意見交換を行った。				令和2年度の管理困難慰霊塔調査結果に基づき、管理者不明及び管理困難な慰霊塔（碑）が所在する関係機関と意見交換を行う。			
活動指標名	関係機関との意見交換回数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	2回	2回	2回	2回	100.0%	順調



様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和2年度実施した調査結果により、土地所有者の意向や慰霊塔の管理状況等がそれぞれ異なることが確認されたことから、個別に対応策等を検討するため、管理困難慰霊塔検討事業の基礎資料を活用して基礎自治体である市町村と意見交換を行った。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>管理困難慰霊塔検討事業対象慰霊塔（碑）が所在する市町村へ当該調査結果を提供し、移設等意向のあった慰霊等について意見交換を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理困難慰霊塔検討事業の基礎資料を活用し、管理困難な慰霊塔（碑）が所在する市町村と意見交換を行った。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	<ul style="list-style-type: none"> <li>慰霊塔（碑）は建立者の財産であり、その維持管理等については本来建立者の責任において行うべきものであるため、そのあり方については、建立者等の意向を尊重する必要がある。</li> </ul>	② 連携の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理困難慰霊塔検討事業の基礎資料を活用し、管理困難な慰霊塔（碑）が所在する市町村等と意見交換を実施するなど、関係機関と連携して個別に対応策等を検討する。</li> </ul>
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、各団体が建立した慰霊塔（碑）の中には、関係者の高齢化等に伴い、十分に管理がなされていないなど課題が顕在化している。</li> </ul>		

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施策	②平和に関する社会貢献活動の推進
			施策の小項目名	〇平和に関する県民意識の醸成
主な取組	ちゅうちな一草の根平和貢献賞の開催		対応する成果指標	平和に関する社会貢献活動に取り組む個人や団体の数(累計)
施策の方向	・県内において平和につながる身近な社会貢献活動に取り組む個人・団体を「ちゅうちな一草の根平和貢献賞」として表彰し、平和に関する県民意識の醸成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
ちゅうちな一草の根平和貢献賞の周知を図るパネル展の開催	県	ちゅうちな一草の根平和貢献賞の周知を図るパネル展の開催		
		パネル展の開催箇所数(累計)		
		9箇所	9箇所(18箇所)	9箇所(27箇所)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課 【 098-866-2500 】		関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/heiwanjo/heiwa/kusanone/kusanone.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/heiwanjo/heiwa/kusanone/kusanone.html</a> □

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	ちゅうちな一草の根平和貢献賞表彰事業			予算事業名	ちゅうちな一草の根平和貢献賞表彰事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	4,708	4,189	県単等	委託	5,869
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
パネル展を通して、歴代受賞者の活動内容を紹介。令和5年度に行われる第3回ちゅうちな一草の根平和貢献賞の告知。				第3回ちゅうちな一草の根平和貢献賞表彰式に向けて、受賞候補者の募集及び周知広報活動の実施。		

活動指標名	パネル展の開催箇所数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-箇所	7箇所	10箇所	9箇所	100.0%	順調	県内商業施設及び市町村役場ロビーにて、パネル展を実施。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

歴代受賞者のパネル展を県内商業施設及び市町村役場ロビー10箇所で開催。県民へ周知広報を図った。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
ちゅうちな一草の根平和貢献賞の認知度向上のため、周知広報に取り組む。	ちゅうちな一草の根平和貢献賞の認知度向上のため、県内商業施設や市町村役場ロビーにおいて、歴代受賞者及び活動内容の紹介のパネル展を10箇所で開催した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	ちゅうちな一草の根平和貢献賞の認知度を上げる周知広報に取り組む。	② 連携の強化・改善	沖縄平和賞と2年に1度交互に開催しており、周知広報等について連携・強化をしていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施策	②平和に関する社会貢献活動の推進
			施策の小項目名	〇平和に関するワークショップやシンポジウムの開催
主な取組	沖縄平和賞次世代ワークショップの開催		対応する成果指標	平和に関する社会貢献活動に取り組む個人や団体の数(累計)
施策の方向	・平和で豊かな社会の実現に向けて、「ちゅうちな一草の根平和貢献賞」や「沖縄平和賞」受賞団体とのネットワークを活用しつつ、平和に関するワークショップやシンポジウムの開催に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
小・中・高・大学における平和ワークショップの実施	沖縄平和賞委員会, 県	小・中・高・大学における平和ワークショップの実施		
		ワークショップの実施校数(累計)		
		3校	3校(6校)	3校(9校)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課 【 098-866-2500 】		関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/heiwananjo/heiwa/16150.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/heiwananjo/heiwa/16150.html</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 平和創造・発信事業				予算事業名 平和創造・発信事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		当初予算額
		県単等	負担	6,000	27,195	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
第11回沖縄平和賞授賞式の開催及び関連事業の実施。				第12回沖縄平和賞受賞候補者の調査並びに沖縄平和賞の情報発信及び広報事業の実施。		

活動指標名	ワークショップの実施校数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	2校	2校	6校	3校	100.0%	順調	次世代を担う学生に沖縄平和賞の存在や意義を伝え、平和を考える機会とするワークショップの開催。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ワークショップの実施校数の目標値3校に対し、豊見城立伊良波中学校をはじめ他5校でワークショップを実施した。ワークショップに参加した小中高・大学生に沖縄平和賞の意義を伝え、平和について考える貴重な機会となった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	次世代を担う学生に、沖縄平和賞の存在や意義等を伝え、「平和な未来を創るために、具体的にどのように行動をとればよいか」など、SDGsの取組を踏まえた国際的な視点を持ち、沖縄から平和を考える機会とすることができた。 また、これまで以上に、小学生から大学生まで幅広い世代を対象に開催することができた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	ワークショップの実施について、目標値を達成することができ、次世代を担う学生に沖縄平和賞の存在や意義を伝えることができた。引き続き、ワークショップの開催等の取組を継続的に行っていく必要がある。	⑧ その他	ワークショップの開催等の取組を継続的に行っていくとともに、沖縄平和賞の歴代受賞者と連携した取組内容とする。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施策	②平和に関する社会貢献活動の推進
			施策の小項目名	〇平和に関する人材育成
主な取組	国際平和ネットワーク人材育成研修の実施		対応する成果指標	平和に関する社会貢献活動に取り組む個人や団体の数(累計)
施策の方向	・平和推進に関心のある県内の若者が「沖縄平和賞」受賞団体等と連携した取組等を通して、国内外で平和につながる活動を行う人材となるよう育成支援に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国際平和関連の関係団体職員との交流や国際支援現場での実地研修など、国際平和ネットワーク人材育成研修事業の実施	沖縄平和賞委員会, 県	国際平和ネットワーク人材育成研修事業の実施		
		国際平和に関心を持ち、発信する意欲のある若い人材の育成数(累計)		
		1人	3人(4人)	5人(9人)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課	【 098-866-2500 】	関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/heiwananjo/heiwa/16150.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/heiwananjo/heiwa/16150.html</a>



様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	平和創造・発信事業			予算事業名	平和創造・発信事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	6,000	27,195	県単等	負担	11,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
第11回沖縄平和賞授賞式の開催及び関連事業の実施。				第12回沖縄平和賞受賞候補者の調査並びに沖縄平和賞の情報発信及び広報事業の実施。		

活動指標名	国際平和に関心を持ち、発信する意欲のある若い人材の育成数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-人	-人	0人	1人	0.0%	大幅遅れ	国際平和に関する研修等を実施し、沖縄から国際平和を発信する意欲のある県内の人材を育成する。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和4年度は、国際平和ネットワーク人材育成のための研修プログラムの検討に不測の時間を要し、研修を実施していない。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の実施改善案	反映状況
—	人材育成事業の実施に向けた検討を事務局内及び関係機関の方々と行っていたが、事業内容の調整に時間を要したため、実施に至ることができなかった。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	新規事業であったため、効果的な研修プログラムの策定に多くの時間を要した。	② 連携の強化・改善	国際平和関連の関係団体と連携を図り、効果的で充実した人材研修等を実施する。